

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第3区分  
 【発行日】令和5年12月26日(2023.12.26)

【国際公開番号】WO2023/144937  
 【出願番号】特願2022-538304(P2022-538304)

【国際特許分類】

B 2 3 C 5/24(2006.01)

B 2 3 B 39/00(2006.01)

B 2 3 B 29/034(2006.01)

10

【F I】

B 2 3 C 5/24

B 2 3 B 39/00 B

B 2 3 B 29/034 B

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月20日(2022.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

中心軸回りに回転され、かつ前記中心軸に沿う軸方向において先端を有する切削工具であって、

ボディと、

ブレードと、

第1取り付けねじと、

調整駒と、

30

第2取り付けねじとを備え、

前記ボディは、外周面を有し、

前記先端側の端部にある前記外周面には、ポケットが形成されており、

前記ブレードは、前記ポケット内において、前記第1取り付けねじを前記ボディに螺合させることにより前記ボディに取り付けられており、

前記ブレードは、前記軸方向に直交し、かつ前記中心軸を通る径方向において内側を向いているブレード側面を有し、

前記ポケットの内壁面は、前記ブレード側面と前記径方向において間隔を空けて対向している接触面を有し、

前記ブレード側面と前記接触面との間の間隔は、前記軸方向において前記先端から離れるにつれて小さくなっており、

40

前記調整駒は、前記ブレード側面と前記接触面との間に配置されており、

前記第2取り付けねじは、前記ボディに螺合されており、かつ前記軸方向に沿って進退されることにより前記調整駒を前記軸方向に沿って移動させ、

前記第2取り付けねじは、頭部と、前記頭部に接続され、かつ前記ボディに螺合されている軸部とを有し、

前記頭部は、前記径方向における前記軸部の中央と前記径方向における前記調整駒の中央との間の前記径方向における距離が1.5mm以下となるように前記調整駒に接触している、切削工具。

【請求項2】

50

前記調整駒は、前記ブレード側面に接触している第1駒側面と、前記径方向における前記第1駒側面の反対面であり、かつ前記接触面に接触している第2駒側面とを有し、前記第2駒側面は、前記接触面に平行になっている、請求項1に記載の切削工具。

10

20

30

40

50